

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	ノンクロエース
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
FAX 番号	03-3245-6248
緊急連絡先情報	化学品事業部環境化学品部環境化学品課
電話番号	03-3245-6148
SDS 作成日	1998年08月17日
SDS 改訂日	2016年04月01日(05版)

2. 危険有害性の要約

分類の名称

該当しない。

物理的及び化学的危険性

還元性があり、酸化性物質と反応し、爆発・発火の可能性がある。

水に濡れると発熱し、発火の可能性がある。

酸との反応又は加熱により、有害な亜硫酸ガスを発生する。

有害性

急性毒性は比較的低い。

皮膚刺激性はなく、眼に極弱い刺激性がある。

環境影響

還元性物質で環境中で容易に酸化され、硫酸ナトリウムになる。生物濃縮性はない。

水生生物に有害である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	亜硫酸ナトリウム(無水)

化学名	CAS 番号	濃度	化学式	官報公示整理番号	
				化審法番号	安衛法番号
亜硫酸ナトリウム(無水)	7757-83-7	>= 97%	Na2SO3	1-502	なし(公表化学物質扱い)

《亜硫酸ナトリウム(無水) の別名》

亜硫酸ソーダ

亜硫酸

《別名》

亜硫酸ソーダ

亜硫酸

4. 応急措置

飲み込んだ場合

口の中を水で洗い、速やかに医師の手当てを受ける。

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、毛布等で保温し安静にさせる。

気分が悪い場合は、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

付着した製品を払い落とした後、製品に触れた部分をよく洗う。

その後、異状があれば、医師の手当てを受ける。

眼に入った場合

直ちに清浄な流水で5分間以上洗浄し、処置後、異状があれば、眼科医の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

火災時の措置

不燃性であるが、加熱により毒性・有害性ガスが発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用すること

周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。

適する消火剤

霧状の水、粉末消火剤、泡消火剤

不適な消火剤

酸性の消火剤

火災時の特定危険有害性

硫黄酸化物 (SO_x)

6. 漏出時の措置

漏出時の措置

- 1) 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「暴露防止措置」を参照の事。
 - 2) 漏出した製品をスコップ等を使って容器に回収する。必要なら砂・おが屑等をまいて、出来るだけ回収する。
 - 3) 漏出した跡を大量の水で洗い流す。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

忌避物質(物質名)

酸性物質、酸化剤、水分・湿気

避けるべき条件

高温・多湿

取扱い

- 1) 取扱う場合は、保護具着用のこと。保護具については、「暴露防止措置」参照の事。
- 2) 粉塵発生を避けること。
- 3) 吸入、皮膚・眼・衣類等との接触は避ける。
- 4) 酸、酸化剤との接触は避けること。

保管

- 1) 換気のよい、直射日光のあたらない乾燥した屋内に保管する。
- 2) 忌避物質と一緒に保管しない。

8. ばく露防止及び保護措置

《亜硫酸ナトリウム(無水) のデータ》

厚生労働省(管理濃度)

設定されていない

日本産業衛生学会(許容濃度)

第3種粉塵(許容濃度：吸入性粉塵 2mg/m³、総粉塵 8mg/m³) (2009年度)

ACGIH(TWA)

記載なし。(2009年度)

設備対策

屋内使用で粉塵が発生する場合、装置の密閉化、又は局所排気装置の設置が必要。全体排気装置の設置を推奨する。

取り扱い場所の近くにシャワー・洗眼器の設置が望ましい。

保護眼鏡

保護眼鏡。粉塵発生する場合は、ゴーグル型眼鏡。

保護手袋

ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

呼吸用保護具

通常、不要。粉塵発生する場合は、防塵マスク。

保護衣

材質を特定しないが、長袖・長ズボン

9. 物理的及び化学的性質

形状

粉末

色

白色

分解

>500°C

密度

高密度： 2.633 g/cm³ (15°C)

pH

9.8 (1%水溶液)

Log P o/w

-4 (25°C)

溶解度

250g/L (水 20°C)

可溶 (グリセリン)

引火点

引火性なし。

還元性

強い還元性がある。

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性

乾燥空気中では、比較的安定であるが、湿気があると吸湿し、発熱する。

酸と反応し、有害な亜硫酸ガスを発生する。

加熱すると分解し、有害な亜硫酸ガスと酸化ナトリウムを発生する。

酸化性物質と接触すると爆発・発火する可能性がある。

11. 有害性情報

有害性情報

急性毒性は比較的低い。

皮膚刺激性はなく、眼に極弱い刺激性がある。

皮膚刺激性

刺激性なし (ウサギ)

眼刺激性

極弱い刺激性 (ウサギ)

Ame s 試験

陰性

Rec-A s s a y 試験

陰性

急性経口毒性

LD50 (ラット) : 2610mg/kg、LD50 (ウサギ) : 2825mg/kg

LD50 (ウサギ) : 2825mg/kg

急性吸入毒性

LC50 (ラット) : >5.5mg/L (4hr)

その他の急性毒性

急性毒性： 静脈投与

LD50 (マウス) : 130mg/kg

急性毒性： 静脈投与

LD50 (ラット) : 115mg/kg

12. 環境影響情報

環境影響情報

還元性を持ち、環境中では、酸素で容易に酸化され、硫酸ナトリウムになる。

その特性からも LogPo/w の値からも生物濃縮の可能性はない。

水生生物に有害である。

急性魚毒性

LC50 (Leuciscus ides) : 220 -460mg/L (96hr)

シロコ遊泳阻害毒性

LC50 (Daphnia magna) : 273mg/L (50hr)

藻類生長阻害毒性

EC50 (Chlamydomonas reinhardtii) : 16 - 32mg/L (72hr)

13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

水に溶解し、希薄溶液とし、酸化剤(次亜塩素酸塩、過酸化水素等)の希薄水溶液で分解し、廃棄する。

14. 輸送上の注意

輸送上の注意

荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。

輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

国連分類(クラス)

該当せず

容器等級

なし

国連番号-品名

なし

海洋汚染物質

非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法	:	通知対象物質 非該当	
		表示対象物質 非該当	
毒物及び劇物取締法	:	非該当	
消防法	:	非該当	
道路法	:	長大・海底トンネル等輸送	非該当
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）	:	非該当	

16. その他の情報

記載内容の問合せ先

化学品事業部環境化学品部環境化学品課（TEL：03-3245-6148 FAX：03-3245-6248）

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）			
中毒110番 一般市民専用電話	（大阪）	072-727-2499（情報料無料）	365日24時間対応
	（つくば）	029-852-9999（情報料無料）	365日9～21時対応
医療機関専用有料電話	（大阪）	072-726-9923（1件2000円）	365日24時間対応
	（つくば）	029-851-9999（1件2000円）	365日9～21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。